

医療法人共生会 長崎友愛病院

- 平成3年11月に開院。長崎市蚊焼町。
- 地域住民の「いのち」と「くらし」を守ることを目標に予防から治療・リハビリテーション・在宅医療まで一貫した医療の提供。 「地域リハの実践」。
- 高齢化の進む南部地域。風土病として脊髄小脳変性症が多い。
- 回復期病床28、地域包括ケア病棟42。
- デイケア,訪問看護,居宅介護支援,訪問リハ。



【Googleマップより引用】

リハビリテーション体制（R7.4月時点）

リハビリテーション課 26名（ST3名， OT5名， ST16名， 助手2名）

課長（ST）
（公認心理師兼務）

相談役（PT）

副主任（PT）

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士

2018年 言語聴覚療法部門 開設

2021年7月 STディケア個別リハビリ 開始

2022年4月 摂食栄養嚥下委員会 発足

2022年10月 摂食機能療法 算定開始

2023年10月 電子カルテ 導入

2024年12月 ST訪問リハビリ 開始

STリハビリ提供体制（R6年度）

- 業務割合：5%
 - 対象疾患：神経難病、
CVA後遺症
- ※物忘れ相談実施中
(公認心理師として)



- 業務割合：10%
 - 対象利用者：神経難病、
CVA後遺症
- ※回復期や包括ケア病棟を退院した
地域住民を主な対象としている

- 業務割合：50%
 - 回復期：脳血管、廃用
 - 包括： //
 - 対象疾患：CVA、廃用、
誤嚥性肺炎、神経難病
- ※摂食機能療法も実施

- 業務割合：35%
 - 対象利用者：神経難病、廃用、
CVA後遺症
(高次脳機能障害)
認知症
- ※口腔機能向上加算も実施

STリハビリの特長と展望

- ◎元々整形疾患中心の病院であったが，神経内科医の赴任によって，回復期の脳血管疾患および廃用症候群の急増している。
- ◎また，早期の神経難病の方への対応も増加しており，STが外来から訪問リハビリまでをシームレスに支援する体制作りは構築されつつあるが，STのマンパワー不足が問題となっている。
- ◎MC I・認知症者へのAIによる支援機器開発研究を神戸大学大学院と共同で行っている。今後は認知症者への地域リハの実践を試みていく予定である。
- ◎現在、STは3名であるが，所属長がSTであるため，働きやすい環境と言える。将来的には最大6名迄増員を予定している。